

## 第2回理事会 報告書

日時：2015年7月4日(土) 12:00~18:00

場所：東京鉄構工業協同組合 事務局

出席者：長谷川(青森)・井上(北海道)・渡辺(埼玉)・山城(京都)・上原(香川)  
松田(東京)・平賀(岩手)・大聖(富山)・中辻(宮城)・多和田(岐阜)  
伊藤(三重)・内田(大阪)・大塚(兵庫)・長谷川(島根)・稲森(鹿児島)

以上15名

オブザーバー：田中様 [(株)鋼構造出版]・山本様 [(株)産業新聞社]

以上2名

### ○ 開会

### ○ 出席者の確認

### ○ 会長挨拶

皆様、足元の悪い中、ご多忙の中、ご参集いただきましてありがとうございます。

先日、親会総会懇親会へ全青会会長として出席して参りました。

米森会長の挨拶の中で、「現在の我々を取り巻く状況は少々の停滞ムードはあるが、焦らなくなってるのではないがオリンピックもあり、高い状況が続くと思われ、これは良い状況と言える。これは我々業界にとっても、追い風ではないか。加えて全青会活動との密な関係を保ち、事業承継と新規入職者の教育へ「教育元年」として取り組んで行きたい。」とのお話をいただきました。

私達全青会も人材の教育を頭に入れて取り組んでいきたいと考えます。

2つ目に、総務広報WGさんにおいて、次年度理事会へ資料、ひな形の引き継ぎの整理をしていただきたいと思えます。スムーズに行くように整理してください。

経営WGさんにおいては、とても良いペースで進んでおりますので、引き続きお願いします。

技術WGさんにおいては、鉄骨110番を今後どのように推し進めていくか具体化していただきたい。

また、日鉄住金建材さん、東京製鐵さんとのような関係を構築していくのが検討してください。

調査研究WGさんにおきましては、テーマを一つに絞り、昨年同様、良いレポートを作成してください。

すべてのWGにおいて、次年度理事会への引き継ぎが大切な仕事となります。

本日は、通常より2時間多く理事会の時間を設けております。より情報交換等の時間も多く取れると思えますので活発な忌憚のない意見を出していただき有意義な時間としてください。

### ○ 各地助成金事業申請及び審議事項、WG事業報告

九州BC合同研修会への2名理事講師派遣について、井上副会長より交通費申請報告がなされた。

九州BC合同研修会について稲森理事より事業報告がなされ、承認された。

東北BC合同研修会について中辻理事より助成金申請がなされた。

中部BC合同研修会について多和田理事より助成金申請がなされた。

富山県よりクラウド講習会講師派遣要請を大聖理事がなされた。(北陸BCの主要役員も参加される)

※派遣費用について協議がなされ、承認された。

経営WGよりYoutube動画作成について事業報告が上原理事よりなされ、交通費支給申請がなされた。

※Youtube説明動画について利用の仕方の説明がなされ、全会員へ通知するよう要請があった。

### 長谷川会長言葉

我々の業界も含めて、製造業全般に言えることではあるが、現在、設備投資が盛んです。損益計算(PL)で記載されるものの業績は順調に推移しているのですが、BSを見ますと固定資産が自己資本(純資産)の部分に収ま傾向にあるのではないのでしょうか？そうなると不況抵抗力が減退します。このような事も経営者として一考していき今後の中長期計画に活かしていく為に注意が必要ではないのでしょうか。

### 会長会議報告

内田理事より沖縄大会会長会議の報告資料について説明がなされた。

### (沖縄大会事後伝

対外的に支障のある内容も有るためブロックへの配布を紙資料とする。

※各県会長へはメール配布とし会長より会員へは紙資料配布とする。【取扱注意】

### 会長会議協議

次期全国大会会長会議の内容について協議がなされた。

### (高知大会)

・沖縄大会のファブトークの第二弾として集計結果の吟味をしてはいかがか？(渡辺副会長)

・各社新入社員(新卒含め)の育成について各社どうされているのか題材にしてはいかがか？(伊藤理事)

- ・ 離職率を落とす手段、溶接工の不足の問題等、多い問題についてはいかがか？（中辻理事）
  - ・ 具体的に「若者にとって魅力のある職場とは？」を皆で再考することが大切では？（稲森理事）
  - ・ 業界へ人材を招き入れる事をよく話題として上がるが、現実的には各社がいかに人を減らして生産していくかを考えているという相反する事が起きている。
- 外国人研修生の利用と社員の教育の相反する点もよく考える必要がある。（長谷川会長）
- ※次回理事会迄に会長会議担当チームをつくり進めていくことにする。

#### 全国大会報告 ( 沖縄大会 )

稲森理事より全国大会沖縄大会における収支予算・決算報告がなされた。  
 ※演台のお花は必要なく、内容を高める事に使用したい。（長谷川会長）  
 ※全青会から補助費用が支給された旨の報告が松田会計理事よりなされた。

#### 全国大会現状報告 ( 高知大会 )

上原副会長より全国大会高知大会のタイムスケジュール等、現状概要について報告がなされた。  
 ※各県5名位の参加をお願いしたい。  
 ※仮登録：8月予定 予備登録：11月予定  
 ・ 開催会場・予算等は現在調整中である。  
 ・ 交通手段をよく検討していただきたい。

#### 会費納入状況報告 松田会計理事連絡

松田会計理事より各県の会費納入状況について報告がなされた。  
 日鉄住金建材殿よりPRの依頼が全青会にあった。  
 東京製鐵殿よりPRの依頼があり、本日PRがある。

#### ○各地活動報告

##### 各ブロック理事より活動報告を行った。

- 北海道ブロック（井上副会長）
- 東北ブロック（中辻理事）
- 関東ブロック（渡辺副会長）
- 北陸ブロック（大聖監事）
- 中部ブロック（伊藤理事）
- 近畿ブロック（内田理事）
- 中国ブロック（長谷川理事）
- 四国ブロック（上原副会長）
- 九州ブロック（稲森理事）

各地活動報告詳細はHPに掲載

#### ○各WGの討議及び報告

各WGにおいて討議を行い、以下の報告を行った。

##### ( 総務・広報WG )

- ・ 全青会ホームページを次期理事会に委ねる際に、より扱いを解りやすくするためにWGで変更できる部分と変更できない部分を明確にしていく。
  - ・ 溶接欠陥サンプルの次期理事会での取扱方を明確にして理事会へ上程し決定していく。
- 滅失の際の対応方法が確立されていないので、書面等作成し使用していく。
- ・ グーグルドライブについて、名前の付け方等、ルール決めした方が煩雑になりにくい。
- PDFでアップロードしていく。（改訂ミスを防止するため）
- ・ 次期理事会へも引き継げるように各種書式のひな形を作成していく。
  - ・ グーグルクラウドサービスには比較的安価な有料版があり、有効性と費用から検討していく。
  - ・ メーカーとの協業等、進めていく。（現時点候補：東京製鐵・日鉄住金建材）

##### ( 経営WG )

- ・ 「基礎からの財務自社分析」についてYoutube動画投稿サイトへその活用方法と自社分析の解説の動画を投稿している。全国の会員へ各理事は周知していく。
  - ・ 下記、経営に関する講習会講師派遣のご案内を各理事は全国会員へ周知していく。
    1. 基礎からの財務スプレッドシートの活用及び変動損益計算書から中期利益計画の作成
    2. 経営計画書の作成方法 初級編 （講師：上原副会長）
- ※一般のコンサルタントの視点ではなく、同じFABの視点からの講習会で唯一のものである。
- ・ 原価管理として自社の時間チャージの簡便な求め方を10月迄にYoutubeに投稿していきたい。
  - ・ 先般全国大会会長会議の内容をジャーナルへ掲載していくが、その記事の整理をクラウドを用い

進めていきたい。

- ・ 講師料、講師交通費の有無の記載を案内文に添える。

( 技術WG )

- ・ 10月に園部先生へ鉄骨110番の議題を持参する。その際にEGアークタブの話もする。
- ・ 今後も園部先生による講習会を進めていくので、各理事は案内資料を各ブロックへ配布する。
- ・ 上記講習会は次期理事会へも引き継いでいく継続事業である。

( 調査・研究WG )

- ・ 海外でのゼネコンの動きについて、M&A、材料調達、進出撤退について興味深く追っていく。
- ・ 国内デベロッパーの海外を見据えた動きも注視していく。
- ・ 契約に関する調査について、日本、海外での契約の仕方について、商社とFABの契約仕方について支払い条件含め適正な契約とは何か調査していく。
- ・ こうあるべきという形を示すのではなく、このようなこともあるというスタンスでレポートをまとめていく。

長谷川会長総括

各WG密な討議ありがとうございます。

各理事は各ブロックより次年度の出向理事の情報を次回理事会迄に収集し報告いただきたい。

東京製鐵㈱PR

東京製鐵㈱浅井販売部長代理、五十嵐宇都宮営業所長より高規格電炉鋼材、TCRについてPRがなされた。

長谷川会長総括

私達全青会にもコラムの一次加工を行っている会員が存在する。全青会のネットワークを通して問題解決の糸口が見つかる事も有り得るので、今後協業も視野に入れた付き合いも検討の余地はあり互恵関係が築ければと思う。

○ 閉会

次回理事会の開催

日時：平成27年9月12日(土)12:00~18:00

場所：東山いきいき市民活動センター

京都東山区三条通大橋東入2丁目下る巽町442番地の9